

令和元年度

御殿場市原里財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

御殿場市監査委員

02御監第200号

令和2年8月21日

御殿場市原里財産区管理者

御殿場市長 若林 洋平 様

御殿場市監査委員 榑原敏彦

御殿場市監査委員 芹沢修治

令和元年度御殿場市原里財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、令和元年度御殿場市原里財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

令和元年度御殿場市原里財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

- 1 令和元年度御殿場市原里財産区特別会計歳入歳出決算
- 2 実質収支に関する調書
- 3 財産に関する調書

第2 審査の期間

令和2年7月3日から8月20日まで

第3 審査の方法

審査は、決算及び同附属書類が関係法令に準拠して作成されているか、計数が正確に表示されているかを確認し、また、予算の執行状況等について関係職員から説明を聴取し、例月現金出納検査の結果を参考としながら実施した。

第4 審査の結果

決算及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であると認められた。また、予算の執行についても適正であると認められた。

以下、審査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。
また、執行率は 99.95% ～ 99.99% の場合 99.9% としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの
「 △ 」 … マイナスのもの

I 決算の状況

1 決算総括

本年度の予算執行状況及び決算収支状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

予算執行状況及び決算収支状況

(単位:円・%)

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
予 算 額	当 初 予 算 額	1,036,381,000	1,294,879,000	△ 258,498,000	△ 20.0
	補 正 予 算 額	113,442,000	58,371,000	55,071,000	—
	予 算 現 額	1,149,823,000	1,353,250,000	△ 203,427,000	△ 15.0
歳 入	調 定 額	1,150,001,110	1,353,889,404	△ 203,888,294	△ 15.1
	歳 入 決 算 額	1,150,001,110	1,353,889,404	△ 203,888,294	△ 15.1
	対 予 算 現 額 収 入 率	100.0	100.0	—	—
	対 調 定 額 収 入 率	100.0	100.0	—	—
	不 納 欠 損 額	0	0	0	—
	収 入 未 済 額	0	0	0	—
歳 出	歳 出 決 算 額	952,768,519	1,096,518,059	△ 143,749,540	△ 13.1
	執 行 率	82.9	81.0	1.9	—
	翌 年 度 繰 越 額	0	0	0	—
	不 用 額	197,054,481	256,731,941	△ 59,677,460	△ 23.2
収 支	歳 入 歳 出 差 引 額 (形 式 収 支)	197,232,591	257,371,345	△ 60,138,754	△ 23.4
	翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源	0	0	0	—
	実 質 収 支	197,232,591	257,371,345	△ 60,138,754	△ 23.4
	単 年 度 収 支	△ 60,138,754	△ 17,735,938	△ 42,402,816	—

(注) 1 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度へ繰り越すべき財源

2 単年度収支 = 本年度実質収支 - 前年度実質収支

- (1) 本年度の当初予算額は 1,036,381千円で、補正予算額 113,442千円を加えた最終予算額は 1,149,823千円となり、前年度に比べ 203,427千円(15.0%)減少している。
- (2) 決算状況は、歳入総額 1,150,001千円、歳出総額 952,769千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は 197,233千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源が皆無のため、実質収支は 197,233千円の黒字となっている。実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 60,139千円の赤字となっている。

- (3) 歳入決算額は 1,150,001千円で、前年度に比べ 203,888千円(15.1%)減少している。
収入率は、予算現額に対し 100.0%、調定額に対し 100.0%である。

歳入決算額の主なものは、財産貸付収入 889,663千円(構成比 77.4%)、繰越金 257,371千円(同 22.3%)である。

減少した主なものは、基金繰入金 190,000千円(皆減)である。

増加した主なものは、財産貸付収入 4,978千円(0.6%)である。

① 基金繰入金が増加したのは、財政調整基金の取り崩しを行わなかったためである。

② 財産貸付収入が増加したのは、演習場土地貸付料が増加したためである。

財産貸付収入のうち演習場土地貸付料は 873,324千円で、歳入総額の 75.9%を占めている。

- (4) 歳出決算額は 952,769千円で、前年度に比べ 143,750千円(13.1%)減少している。
執行率は 82.9%で、前年度に比べ 1.9ポイント上回っている。

歳出決算額の主なものは、繰出金 609,259千円(構成比 64.0%)、財産管理費 281,411千円(同 29.5%)である。

減少した主なものは、繰出金 266,653千円(30.4%)である。

増加した主なものは、財産管理費 121,882千円(76.4%)である。

① 繰出金が増加したのは、教育部事業繰出金(小学校環境整備事業(朝日小学校))の増加があったものの、市民部事業繰出金(杉名沢区コミュニティ共用施設解体工事、神場区公民館建設工事)、健康福祉部事業繰出金(原里第2保育園グラウンド整備修繕)等の減少が上回ったためである。

② 財産管理費が増加したのは、需用費が増加したためである。

不用額は 197,054千円で、前年度に比べ 59,677千円(23.2%)減少している。

不用額の主なものは 予備費 155,398千円、繰出金 26,680千円である。

なお、予備費を除く不用額は 41,656千円で、前年度に比べ 55,846千円(57.3%)減少している。

(5) 市会計への繰出金の状況は、次のとおりである。

市会計への繰出金の状況

(単位:円・%)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
市事業関係	608,880,243	875,509,484	△ 266,629,241	△ 30.5
人件費関係	24,990,622	24,992,753	△ 2,131	△ 0.0
選挙関係	378,675	402,826	△ 24,151	△ 6.0
合計	634,249,540	900,905,063	△ 266,655,523	△ 29.6

また、主な市事業関係への繰出金の状況は、次のとおりである。

・企画部関係	800千円
・総務部関係	6,956千円
原里愛郷会館維持管理業務	5,049千円
・市民部関係	56,938千円
神場区公民館解体工事	7,916千円
原里地区広場指定管理料	15,736千円
原里地区広場施設管理事業	16,261千円
・健康福祉部関係	77,106千円
保育所費	60,000千円
・環境部関係	200千円
・産業スポーツ部関係	9,579千円
地区農業振興事業	2,018千円
・都市建設部関係	110,459千円
道路改良事業（道路新設・地域関連道路外）	89,479千円
・教育部関係	337,783千円
地区地域づくり事業	28,623千円
小学校環境整備事業(朝日小学校)	113,221千円
中学校環境整備事業(原里中学校)	131,672千円
・消防本部関係	3,184千円
・会計課関係	36千円
・危機管理課関係	5,872千円
原里火防隊運営事業	4,500千円
・公共下水道事業関係	346千円

(6) 予備費(議決予算額 155,398千円)は、本年度の執行はなかった。

II 財産に関する調書

公有財産、物品、基金の状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地及び建物

(単位: m²・%)

区 分	元年度末現在高	30年度末現在高	比較増減	増減率
土 地	5,763,833.69	5,757,424.18	6,409.51	0.1
5 財 産 区 共 有 地 (持 分 1 / 5)	14,203.00	14,203.00	0.00	—
建 物 (非 木 造) (延 面 積)	197.12	197.12	0.00	—

※5財産区共有地は所有権を持分登記しているため、地積の合計に含めない。

① 土地

土地の年度末総面積は 5,763,833.69m²で、新たな土地取得により 6,409.51m²(0.1%)増加している。

② 建物

建物(非木造)の年度末総面積は 197.12m²で、年度中の増減はなかった。

(2) 山林

区 分	元年度末現在高	30年度末現在高	比較増減	増減率(%)	
山 林	所 有 (m ²)	1,174,462.61	1,168,166.61	6,296.00	0.5
	分 収 (m ²)	1,200,603.00	1,200,603.00	0.00	—
	合 計 (m ²)	2,375,065.61	2,368,769.61	6,296.00	0.3
立木の推定蓄積量 (m ³)	37,108.00	36,658.00	450.00	1.2	

① 山林

山林の年度末総面積は 2,375,065.61m²で、前年度に比べ 6,296.00m²(0.3%)増加している。これは主に先述の土地の増加によるものである。

② 立木

立木の推定蓄積量は年度末現在 37,108.00m³で、前年度に比べ 450.00m³(1.2%)増加している。この増加の要因は、先述の土地の増加及び生育による自然増加等である。

(3) 有価証券

(単位:円・%)

区 分	元年度末現在高	30年度末現在高	比較増減	増減率
株 券	108,000	108,000	0	—

出資金の年度末現在高は 108千円で、年度中の増減はなかった。

(4) 出資による権利

(単位:円・%)

区 分	元年度末現在高	30年度末現在高	比較増減	増減率
御殿場市森林組合出資金	1,200,000	1,200,000	0	—

出資金の年度末現在高は 1,200千円で、年度中の増減はなかった。

2 物 品

(単位:品・%)

区 分	元年度末現在高	30年度末現在高	比較増減	増減率
物 品	8	8	0	—

物品は年度末現在 8品で、年度中の増減はなかった。

(なお、物品は、取得価格または評価額が100万円以上のものについて集計した。)

3 基 金

(単位:円・%)

区 分	元年度末現在高	30年度末現在高	比較増減	増減率
財 政 調 整 基 金	1,738,341,003	1,557,425,496	180,915,507	11.6

基金は財政調整基金で、年度末現在高は 1,738,341千円であり、前年度に比べ 180,916千円(11.6%)の増加となった。この内訳は、基金利子 916千円の積み増し及び元金 180,000千円の積み増しである。

付表 第1表 歳入予算執行状況

区 分	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収
			金 額 (C)
1 使用料及び手数料	1,000	0	0
1 使用料	1,000	0	0
1 使用料	1,000	0	0
2 財産収入	890,697,000	890,828,289	890,828,289
1 財産運用収入	890,461,000	890,594,531	890,594,531
1 財産貸付収入	889,544,000	889,662,824	889,662,824
2 利子及び配当金	917,000	931,707	931,707
2 財産売払収入	236,000	233,758	233,758
1 不動産売払収入	1,000	0	0
2 生産物売払収入	234,000	233,758	233,758
3 物品売払収入	1,000	0	0
3 繰入金	1,000	0	0
1 基金繰入金	1,000	0	0
1 基金繰入金	1,000	0	0
4 繰越金	257,371,000	257,371,345	257,371,345
1 繰越金	257,371,000	257,371,345	257,371,345
1 繰越金	257,371,000	257,371,345	257,371,345
5 諸収入	1,753,000	1,801,476	1,801,476
1 預金利子	1,000	30,574	30,574
1 預金利子	1,000	30,574	30,574
2 雑入	1,752,000	1,770,902	1,770,902
1 損害補償料	778,000	793,548	793,548
2 雑入	974,000	977,354	977,354
合 計	1,149,823,000	1,150,001,110	1,150,001,110

(単位:円・%)

入 済 額			不 納 欠 損 額 (D)	収 入 未 済 額 (B-C-D)	予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 差 (C-A)
構 成 比	収 入 率				
	対 予 算	対 調 定			
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
77.5	100.0	100.0	0	0	131,289
77.5	100.0	100.0	0	0	133,531
77.4	100.0	100.0	0	0	118,824
0.1	101.6	100.0	0	0	14,707
0.0	99.1	100.0	0	0	△ 2,242
—	—	—	0	0	△ 1,000
0.0	99.9	100.0	0	0	△ 242
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
—	—	—	0	0	△ 1,000
22.3	100.0	100.0	0	0	345
22.3	100.0	100.0	0	0	345
22.3	100.0	100.0	0	0	345
0.2	102.8	100.0	0	0	48,476
0.0	—	100.0	0	0	29,574
0.0	—	100.0	0	0	29,574
0.2	101.1	100.0	0	0	18,902
0.1	102.0	100.0	0	0	15,548
0.1	100.3	100.0	0	0	3,354
100.0	100.0	100.0	0	0	178,110

付表 第2表 歳出予算執行状況

区 分	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額		
		金 額 (B)	構 成 比	執 行 率
1 議会費	29,143,000	28,809,833	3.0	98.9
1 議会費	29,143,000	28,809,833	3.0	98.9
1 議会費	29,143,000	28,809,833	3.0	98.9
2 総務費	329,343,000	314,699,768	33.0	95.6
1 総務管理費	34,181,000	33,288,709	3.5	97.4
1 一般管理費	34,181,000	33,288,709	3.5	97.4
2 財産管理費	295,162,000	281,411,059	29.5	95.3
1 財産管理費	295,162,000	281,411,059	29.5	95.3
3 諸支出金	635,939,000	609,258,918	64.0	95.8
1 繰出金	635,939,000	609,258,918	64.0	95.8
1 繰出金	635,939,000	609,258,918	64.0	95.8
4 予備費	155,398,000	0	—	—
1 予備費	155,398,000	0	—	—
1 予備費	155,398,000	0	—	—
合 計	1,149,823,000	952,768,519	100.0	82.9

(単位:円・%)

翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 差 (A-B)
0	333,167	333,167
0	333,167	333,167
0	333,167	333,167
0	14,643,232	14,643,232
0	892,291	892,291
0	892,291	892,291
0	13,750,941	13,750,941
0	13,750,941	13,750,941
0	26,680,082	26,680,082
0	26,680,082	26,680,082
0	26,680,082	26,680,082
0	155,398,000	155,398,000
0	155,398,000	155,398,000
0	155,398,000	155,398,000
0	197,054,481	197,054,481

付表 第3表 歳入決算額前年度比較表

歳入

(単位:円・%)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減 (A-B)	増減率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
1 使用料及び手数料	0	—	0	—	0	—
1 使用料	0	—	0	—	0	—
1 使用料	0	—	0	—	0	—
2 財産収入	890,828,289	77.5	886,970,234	65.5	3,858,055	0.4
1 財産運用収入	890,594,531	77.5	886,970,234	65.5	3,624,297	0.4
1 財産貸付収入	889,662,824	77.4	884,684,416	65.3	4,978,408	0.6
2 利子及び配当金	931,707	0.1	2,285,818	0.2	△ 1,354,111	△ 59.2
2 財産売払収入	233,758	0.0	0	—	233,758	皆増
1 不動産売払収入	0	—	0	—	0	—
2 生産物売払収入	233,758	0.0	0	—	233,758	皆増
3 物品売払収入	0	—	0	—	0	—
3 繰入金	0	—	190,000,000	14.0	△ 190,000,000	皆減
1 基金繰入金	0	—	190,000,000	14.0	△ 190,000,000	皆減
1 基金繰入金	0	—	190,000,000	14.0	△ 190,000,000	皆減
4 繰越金	257,371,345	22.3	275,107,283	20.3	△ 17,735,938	△ 6.4
1 繰越金	257,371,345	22.3	275,107,283	20.3	△ 17,735,938	△ 6.4
1 繰越金	257,371,345	22.3	275,107,283	20.3	△ 17,735,938	△ 6.4
5 諸収入	1,801,476	0.2	1,811,887	0.2	△ 10,411	△ 0.6
1 預金利子	30,574	0.0	51,424	0.0	△ 20,850	△ 40.5
1 預金利子	30,574	0.0	51,424	0.0	△ 20,850	△ 40.5
2 雑入	1,770,902	0.2	1,760,463	0.2	10,439	0.6
1 損害補償料	793,548	0.1	783,900	0.1	9,648	1.2
2 雑入	977,354	0.1	976,563	0.1	791	0.1
合 計	1,150,001,110	100.0	1,353,889,404	100.0	△ 203,888,294	△ 15.1

付表 第4表 歳出決算額前年度比較表

歳出

(単位:円・%)

区 分	令 和 元 年 度		平 成 30 年 度		比 較 増 減 (A-B)	増減率
	決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比		
1 議会費	28,809,833	3.0	28,262,266	2.6	547,567	1.9
1 議会費	28,809,833	3.0	28,262,266	2.6	547,567	1.9
1 議会費	28,809,833	3.0	28,262,266	2.6	547,567	1.9
2 総務費	314,699,768	33.0	192,343,483	17.5	122,356,285	63.6
1 総務管理費	33,288,709	3.5	32,814,806	3.0	473,903	1.4
1 一般管理費	33,288,709	3.5	32,814,806	3.0	473,903	1.4
2 財産管理費	281,411,059	29.5	159,528,677	14.5	121,882,382	76.4
1 財産管理費	281,411,059	29.5	159,528,677	14.5	121,882,382	76.4
3 諸支出金	609,258,918	64.0	875,912,310	79.9	△ 266,653,392	△ 30.4
1 繰出金	609,258,918	64.0	875,912,310	79.9	△ 266,653,392	△ 30.4
1 繰出金	609,258,918	64.0	875,912,310	79.9	△ 266,653,392	△ 30.4
4 予備費	0	—	0	—	0	—
1 予備費	0	—	0	—	0	—
1 予備費	0	—	0	—	0	—
合 計	952,768,519	100.0	1,096,518,059	100.0	△ 143,749,540	△ 13.1